

# 平成29年度 キャリア教育講座

平成29年度第1学年キャリア教育講座を実施しました。たくさんの地元企業、機関にご協力をいただき、多くの生徒の訪問を受け入れていただきました。大変ありがとうございました。

1. 目的 実際の職業見学を通して職業人としての在り方・生き方を学び、高校生としての職業観を身につける。また、その職業に至るまでのプロセスを理解する。

2. 日時 平成29年7月19日(水)

3. 訪問先一覧

	訪問先	内容
1	伊藤・野条法律事務所	・弁護士としての仕事内容説明 ・資格取得について ・高校時代に身につけたいこと
2	福井地方裁判所	・裁判官、調査官等についての説明 ・法廷見学
3	福井新聞社	・紙面作りについて ・社内見学
4	福井銀行センタービル 福井銀行本店	・施設見学 ・講話
5	福井県立大学 経済学部	・経済学がどのような職業につながっていくか。 ・経済学を学んだ者として(経験から)
6	福井大学 教育学	・授業における教師の指導と生徒の反応について
7	福井総合病院	・4つのコース(医学・薬学・看護学・理学療法)に分かれての講習
8		
9		
10		
11	福井コンピュータ ホールディングス株式会社	・プログラマーという仕事 ・VR体験
12	福井大学大学院 工学研究科	・大学教授という仕事 ・研究室見学など
13	オーディオテクニカフクイ	・会社説明、ビデオ視聴 ・工場見学 ・講義、質疑応答 ・実習「紙コップスピーカー作り」
14	田中化学研究所	・電池に関する講義、電池の分解実験 ・工場見学 ・質疑応答

### 【伊藤・野条法律事務所】



今日の訪問では、弁護士であり藤島高校出身で私たちの先輩である野条先生から貴重なお話を聞くことができました。お話の中で最も印象に残ったことは、弁護士という職業の特性とそれに対する野条先生の考え方です。実は弁護士は国からの金銭的な支援を受けておらず、弁護士会だけでお金などさまざまなことをやりくりするかわりに、立法や行政などさまざまなものから自由であるということを知り、意外に思いました。国をはじめとする大きな力をもつ機関の影響を受けず、自分の良心と信念に基づいた「正しい」ことができる弁護士という職業によりいっそう魅力を感じました。まだ今後の明確な進路等決め切れない部分があるので、一つの参考にしようと思いました。

### 【福井地方裁判所】

今回の講座で最も印象に残っているのは、裁判は自分にとって日常だが、人にとっては一生であるという言葉だ。この言葉にはすごい重みを感じた。自分も法曹を目指している。法に携わる、人の一生を左右するということも責任感のある仕事だ。今回学んだ、人の話に耳を傾け、何がポイントなのかを考え、自分の意見を確立させるということを日頃の中から高めていき、立派な法曹になれるよう日々精進していきたい。機会を見て、傍聴に行きたい。

テレビのイメージが強く、裁判所と聞くと暗くて怖いイメージがありました。今日の講座を受講して全く違うものだったということがわかりました。まず、裁判官以外にも書記官や調査官などいろいろな人がいることを初めて知りました。そして、書記官になるにもとっても難しい試験に合格しないといけないということです。わたしは裁判所、法廷で働くためには裁判官でないといけないと思っていたので、選択の幅が広がりました。そして、法廷に入ることができて改めて裁判所ってかっこいい、ここで働きたいと強く思うことができました。詳細に、進路についてもうかがうことができたので、これをきっかけに全力で勉強を頑張りたいと思います。

### 【福井新聞社】

私は将来、生物に関して研究したいとあって、研究者となると発表することは絶対になってくると思うが、相手に分かりやすく、的確に伝えるという意味で、新聞社と同じところがあると思うから、とても多くのヒントを得ることができたと思う。具体的には「5 W 1 Hをはっきりする」「グラフを用いる」「分かりやすい写真を用いる」など。これからもっと多くのヒントを得るために、こまめに新聞を読もうと思う。今回の講座で新聞に関する知識もふかめることができて、とてもタメになったと思う。



### 【福井銀行センタービル】

「銀行」というと何だか堅くて真面目な雰囲気がある。これが今まで私が持っていたイメージです。しかし、講座に参加して、まったくそんなことは無いことがわかりました。一番印象に残ったことは、銀行の本当の仕事です。預金や貸付はもちろん銀行の役割だけれど、個人の人生や法人の経営についての相談も受けているようで、とても驚きました。社会・経済の心臓であり、お金が回らないと経済は動きません。そのような銀行ならではの立場をうまく活用し、活性化のためにサポートを行っているそうです。また、将来についても語ってくださり、本当に有意義な時間を過ごすことができたと感じています。人間としても問われるコミュニケーション能力を大切に、幅広い選択肢を求めて日々励んで生きていきたいです。

銀行というと、中でどんな仕事をしているのか想像ができなかったので選択したのですが、とにかく意外でした。銀行というと、お金を貸すイメージが強いですが、その前に個人や企業との相談があり、そこが特に大事だそうです。ただの作業ではなく、自分の考えを実現させることができる仕事というのが、とてもやりがいがあると思いました。また、さまざまな職業の人とかかわることができるというのも、いろいろな世界を知ることができて良いと思いました。どの職員（行員）さんも「福井を盛り上げたい。」という思いを持っていて、銀行に対する堅いイメージが大きく変わりました。



## 【福井県立大学 経済学部】



今日、実際に大学の講義を受けて、大学では今よりも授業の内容に疑問を持ち、能動的に学ぶことが必要なのだと感じました。また、経済の仕組みを学ぶ時に、なぜその仕組みになったのかとか、歴史や世界の情勢とかも合わせて考えると、問題意識を持ちやすくなるのが分かりました。今、世界ではアメリカが最も力があり、貿易でも曖昧な定義の言葉が国際貿易のルールになっているのは、貿易の「結果」を見て、「機会」の平等が歪められる恐れがあり、大きな問題だということが分かりました。経済学は、専門的な視点と社会全体を見て考える鳥の視点も必要なので、いろいろな分野に興味を持って学習しようと思いました。

## 【福井大学 教育学】

先生が最後に自分で説明してしまうのでは、生徒のためにならず、生徒が自ら考える時間をとらなければならないという先生の話聞き、自分も積極的に自ら考えるようにしたいと思いました。また、大阪の授業から、説明力ではなく、論述力が重要になっていると知った。考えの結果を共有することと、考えるプロセスを読み解いていくことは、違うことだということが、とても印象に残りました。考えを内面にするという自分で考えていく力を伸ばすための授業が求められていると知りました。知識の習慣ではなく考える力を伸ばすため授業が研究され行われていると知り、深いものだと思います。



## 【福井総合病院】



《医学》 今日、普段見ることのできない手術の様子や血や尿の検査室の中なども見ることができました。手術の様子を見て、相手との連携やコミュニケーション能力が医療でもとても大切なのだと思いました。もちろん個々の力も重要で、医者になって3ヶ月の先生は、1日の間朝5時から夜の12時まで勉強していたそうです。今の時期から本気で勉強することが大事だと思います。医療機器の科学技術がとても発展していることに驚きました。CT・MRIの用途の違いやエコー測定の使い方、身体の部分に合わせて内視鏡の形状や太さが違うことなどを学びました。外科の先生が切り取った癌などから、悪性かどうか、進行具合はどのくらいかを調べる人のことも知ることができました。知らなかった仕事の重要性をたくさん学ぶことができ、とてもよい経験になったと思います。

《理学療法》 直接患者さんと話をしたり、先生が患者さんをマッサージしたりしているのを見て、理学療法士への憧れが強まりました。理学療法士は自らの手で患者さんの身体を直して、楽にしていこうという点ですごいなと思いました。実際に、年配の患者さんと接している様子を見て、コミュニケーション能力が必要なのだと、改めて実感しました。医学はこれからも進歩していくので、生涯ずっと勉強して、質の高いケアということが心に残りました。この体験を忘れずに、一生懸命勉強していきたいと思いました。医学は難しいと思うけれど、その分仕事でのやりがい大きいと思うので、医療に携わる人になれるようにがんばります。今回の体験は本当に貴重なものでした。

《薬学》 今日福井総合病院の薬学の体験に行きました。薬学のことは知らないことがたくさんありました。でも、今日はたくさん役に立つことが聞けました。例えば、新しい薬をつくる時はたくさんのお金を使うだけでなく、健康な成人の方に協力してもらい、生活を管理して採血したりして、薬の効果を確かめるなど、たくさんの人の支えがあることや、薬をはかたり包装したりするときは、ほこりがいかなど確かめなければいけないことが分かりました。薬剤師の方の具体的な仕事も分かって、文理選択の手助けになったと思います。いつもは患者として病院に行っていますが、違う立場で見学させていただいて、たくさんのが分かり、有意義な時間でした。

《看護学》 今回は、実際に病院で看護師として働いていらっしゃる方の様子を見せていただいたり、お話を伺ったりと、貴重な素晴らしい体験をさせていただきました。私は将来医療に携わりたいと思っていますが、どのような形で携わるかはまだ迷っています。母は元々看護師として病院で働いていました。そのため看護師の仕事についてはよく話を聞いていました。しかし、今回は現役の看護師さんや患者さんとの交流ができ、今まで気づかなかった看護師の魅力や大切さを感じることができました。看護師は情報の中継をする役で、色々なことに気を配らなければいけません。また、唯一患者さんと強いつながりを持つ役です。だからこそ、看護師は治療をしていく中で重要な立場で、やりがいを感じられるのだと分かりました。患者さんの命や人生に関わる仕事なので、責任をしっかりと持ちたいです。



### 【福井コンピュータ】



私は、福井コンピュータのことどころか、IT系の企業についての知識がほとんどなかったので、教わったことや体験させていただいたことはとても新鮮で有意義な時間を過ごすことができました。最初に会社の説明をしていただいたときに建築や土木の分野でどんどんITの技術を取り入れていること自体も初めて知ったし、3次元的なソフトを開発できる技術にとっても驚きました。VR体験で、実際に体験させていただいて、建物の再現度がまず良かったし、操作に慣れていなくても簡単に色を変えたり、家を確認したりできるのはとても便利で、楽しく家について考えられるのがいいなと思いました。実際の仕事場も、机の配置などが工夫されていて、働きやすそうな職場だと思ったし、全体を通して、将来のことを考えるうえでとても参考になった経験でした。

### 【福井大学大学院 工学研究科】

自分は大学の教授という職業が、具体的に何をするかということを知らなかったが、そのことについて興味があったため、このコースに参加した。この経験で、さらに興味がわいて将来の展望も広がったと思う。末教授の経歴を紹介していただいたが、その中でも「研究」というところに特に興味を持った。企業でご研究なさっていた時期もあったというところで、疑問を持った点の原因を研究するためにどうすればよいかを考え、大学での研究に至った経緯を聞いた。自分のことに当てはめて、将来どのような組織に所属すればよいかを判断していけたらよいと思う。理系ならば重要である「研究」に関連することを学ぶことができ、ありがたい体験となった。



### 【テクニカフクイ】



オーディオテクニカフクイでは、マイクやヘッドフォンなどをたくさん生産していて、工場でその過程を見せて頂きました。一人ひとりが手作業で不良品がないか何回も確認していて、メーカーとしてプライドをもって仕事をしていることが分かりました。オーディオテクニカフクイのマイクやヘッドフォンのシェアは8割を占めていて、高い技術力があることも分かりました。蓄音機などの技術の進歩を丁寧に説明して頂いて、さらに紙コップヘッドフォン作りも体験させて頂き、楽しく深く学ぶことができて良かったです。

### 【田中化学研究所】

私は将来研究職に就きたいと思い、この田中化学研究所の見学を希望しました。今回の電池の分解というのは、私にとって初めてのことでした。今まで何も考えずに使っていた電池でしたが、様々な物質で作られているということがよく分かりました。また、どのように電気エネルギーを作るとかということも知ることができました。

工場見学では、大型の機械がそれぞれの役割ごとに稼働していました。人は機械の管理が主な仕事という説明を聞き、私はそれまでに抱いていたイメージとの違いに驚きました。

また、エアシャワーもとても印象に残りました。やはり管理が難しい材料を扱っていると、作業をする場所に行く前にもしっかりと準備が必要なのだと感じました。

見学をさせていただきありがとうございました。

